

学校だより

平成30年10月23日(火)

## 明るく 元気に 前向きに

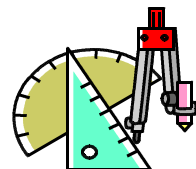
第9号

いわき市立平第一小学校(文責 校長 伊達多津也)

朝の最低気温が10度を下回るようになってきました。秋が深まりつつあります。

### 算数科 授業公開

小教研の授業公開は、市内6校が会場になります。本校が算数科、高坂小が国語科、勿来二小が家庭科、江名小が道德、入遠野小が図画工作科の研究を2年間継続してきました。



いわき市小学校教育研究会(略して「小教研」)委嘱、算数科授業公開協力校の発表会が終わりました。いわき市内外から約300名の教職員が来校して、本校6学級の授業参観、研究経過報告、研究協議をとおして、算数科の授業の在り方について、本校の取り組みを公開しました。

本校の研究主題は、「算数的活動を通して、学ぶ楽しさを感じながら主体的・対話的に学ぶ合う子どもの育成～子どもが思わず伝えたい授業をめざして～」としました。保護者の皆様にお伝えしているHPの「算数の部屋」も、取り組みのひとつです。

当日の授業公開に臨んだ学級のみならず、どの学級でも授業研究を通して、教職員がたくさんの話し合いをしてきました。授業に臨んでいる子ども達の表情やつぶやき、友だちとの対話、そして意見発表が、いきいきとしていたことが嬉しかったことです。授業後、「今日の算数授業、楽しかった。」と素直な感想もたくさん聞かれました。

参観者の感想で一番多かったものが、「子ども達の学びの姿が素晴らしい」ということでした。平一小の子ども達の授業中のつぶやきや意欲、表情、意見発表等々がすばらしく、感銘を受けたという内容です。研究指定を受けて、一番大切にしてきた子ども達の姿をほめられたことが何よりの喜びでした。

### 猪苗代 → いわき 宿泊活動場所を変更します

震災以降、5年生の宿泊活動場所を猪苗代町の磐梯青少年交流の家で行って来ました。いわき海浜自然の家の活動が、放射線量の心配から制限があり、さらにいわき市外の活動に補助金が出ることもありまして猪苗代を活動場所としてきました。

これまで、数年にわたり、検討を重ねてきましたが、第1学期学年懇談会で現4学年保護者の皆様の了解を得たこともあり、**次年度はいわき海浜自然の家を活動場所**として計画します。

いわき海浜自然の家への変更理由は次のとおりです。

- 1 放射線量の不安解消(活動場所の安全性)
- 2 市外への活動費の打ち切り(保護者の負担軽減)
- 3 近い場所のメリット(急な体調変化に対する対応がしやすい)
- 4 海での体験をさせたい(海での経験の少なさ)



いわき海浜自然の家は、継続して放射線量を計測しています。担当の先生より、子ども達の活動に影響がない数値となっているデータも示していただきました。

### 表彰 続々

全校集会でたくさんの表彰を行いました。地域の力による「書道」の表彰の多さは今年度も継続しています。理科作品展の入賞数も市内No.1となりました。(夏休みのご家庭での取り組みの成果です。)さらに、今年度は「作文」の入賞が続いています。各種コンクールでの上位表彰者が多く、6年生の県内最優秀賞に続いて、続々と入賞者が出ていて、実りの秋を迎えています。

#### 【校長のひとりごと】 「喝!」

久々の全校集会で、校長より「喝!」が入りました(後味は大変悪いものです。)。その場面は、表彰の際に、担当の先生から「名前を呼ばれたら元気よくハイの返事をして・・・」と促されても、呼名をされるものの「ハイ」の返事をしないか、聞こえない小声だったのです。「名前を呼ばれてハイ」は当たり前のことです。家庭の中で学校の中で何度も何度もくりかえされる「○○君」「○○さん」に対して、「ハイ」の返事ができない平一小生になってほしくないと、伝えました。あいさつや返事は、きちんと相手に伝える第一歩です。